

とうとう秋がやってきた!と思ったら、暑かったり寒かったり…体調管理が難しい。お世話になります。

PLUS ULTRA 秘訣3 機嫌よく過ごす

楡木小は、絶賛見学旅行開催中です。様々な学年で、多様な学びが繰り広げられています。場所も、ねらいも、出会（合）う人ものコトも違うのですが、子どもたちの学びの深さや豊かさは、すべてのお子さんに共通しているようです。本物は、やはり魅力的です。

そんな折、ふとバスを降りる姿に惹かれてしまいました。けんたさん（仮名）は、毎回、見学地に降りる際、運転手さんに声をかけているのです。

「ありがとうございます」「いってきます」「お世話になります」

そして、言葉とともに笑顔を添えて。私はその笑顔に、自然と惹かれたのだらうと思いました。加えて、けんたさんの眼前には、これも満面の笑みを浮かべた運転手さんが。常に、慎重な運転を心がけてくださっている運転手さんは、ずいぶん神経も使われていることでしょう。疲れてもいらっしゃることでしょう。それでも、満面の笑み。

私もなんだか笑み（にやっとしたの方が適切か?）がこぼれます。そして気づかされました。その一画の空気感が、得も言われぬ暖かな空間になっているのです。けんたさんに続き、バスを降りるときに「ありがとうございます」とか「お世話になります」などというさわやかなあいさつが、何度も交わされ始めていたのです。運転手さんは破顔し、声の調子まで1オクターブぐらい上がっています。笑顔と高い声と、それからさわやかな空気と。それはそれは得も言われぬ気持ちの良い空間でした。

昨今のメディアで、「ハラスメント」が話題に上ることが多くなりました。特に、テレビをにぎわしているのが、「カスタマーハラスメント」ーカスハラと呼ばれるハラスメントです。カスハラは、カスタマー（顧客）からの不当な要求や嫌がらせのことだそうです。

ずいぶん機嫌の悪い顔をしているんだろうな。そんな風景が目には浮かびました。

実際、機嫌の悪い顔をして、「なんてことだ!」とクレームを言ったところで、どうでしょうか。もちろん、気持ちはわかります。自分の思いが伝わらないもどかしさや、大切に扱われていないという虚しさ、馬鹿にされているのではないかという腹立たしさが起きるのは、理解できます。だからと言って、横柄な態度で自分の権利を主張しても、相手も間違えなく良い気分にはならない。これは、何に責任があるとかの問題ではなく、空気感のことです。

この良くない空気感では、要求が十全に通るとも思えないし、相手が自分の思いを理解してくれるなんてことは、まず起きない。不機嫌は怒りに変わり、本末転倒です。

もし、相手に過失があったとしても、相手が完全に悪かったとしても、最大限の相手に対する配慮ができていたとしたら状況は好転すると、私は思います。

人の課題は、ほぼ人間関係にある、といっても過言ではない、かもしれません。

見学旅行でみせたけんたさんのような、雰囲気すら気持ち良くしてしまう笑顔は、それだけで人間関係を確実に良好にします。そして、自分が思う以上の成果を、新しい人間関係をもたらさるのではないのでしょうか。機嫌よく過ごす。とても大切な生き方を、私はけんたさんから学びました。でも、難しいんだよな～（本音）。

